



『まえだとし女 全句』

振向けば体育の日の晴渡り
梨園に飛かふものをよけてをり
梨をむく年まちまちな七人に

まえだとし女

色鳥や時折人も迷ひ込む
鳥渡るむかしは塩を運ぶ川
五本松を賑はしてゐる鶉の声
青唐辛子雑じりしとだけ子に応ふ
敬老日万年橋を訊ねらる
天高し「今日はヘルシー食」の子よ
秋真昼防火バケツにはまりし子
おおすびは宿の調達秋の朝
ともに好きとふ吾亦紅携へて
秋祭を繰上ぐるごと祭過ぐ
秋惜しむがらんとなりし埠頭行

『まえだとし女 全句』

